

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォンやタブレット、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 7

上田市立西内小学校



# われら西内小学校



令和2年11月27日

## 11月校長講話 なかよし旬間について

11月の校長講話はなかよし旬間にかかわる話でした。内容は二つです。

一つ目はなかよし清掃についてです。なかよし清掃は異年齢の分担による日常の清掃です。なかよし清掃が導入された当時の2年生、5年生の作文を読んでもらいました。当時も今もなかよし清掃で同じことは異年齢で手伝い合って助け合っているところ、また新たな友達の一面を見つけられるところです。清掃をしながらかわりを深めることができます。



二つ目は「普通ってなんだろう」です。プロ野球楽天イーグルスのオコエ選手の話の話を聞きました。オコエ選手はお父さんがナイジェリア人で、オコエ選手自身は日本で生まれ育った日本人です。肌の色のことで幼いときに心ない言葉をかけられた経験を持ちます。また、肌色は今、薄橙やパールオレンジと呼ぶようになってきているということです。普通とは何か、考えさせられるエピソードです。

校長講話を聞きながら、なかよし旬間の取組について考えることができました。

## 小春日和の中 全校脱穀

雨天のため一度延期となった脱穀が行われました。全校児童に加え、多数のボランティアさんにご参加いただきました。

ボランティア代表の方にお話をいただき、「お願いします」とあいさつをして作業を開始しました。交流ペアごとに干しておいた稲穂の束を機械のところまで持っていく、脱穀をしてもらいました。

小春日和の中、たいへん気持ちよく作業ができました。気持ちのよいのは気候だけでなく、子どもたちがよく稲束を運んで働いていましたし、多くのボランティアさんのご協力を得ながら、いっしょに働くのも清々しいものでした。



脱穀した籾はコメ袋にして10にもなりました。精米して11月の収穫祭には餅つきをしました。

全校児童とボランティアさんの力が合わさって、気持ちよく作業ができました。ありがとうございました。

## 5・6年生 北陸修学旅行

### 元気に出発

10月27日朝、5・6年生は修学旅行に出発しました。

学校玄関で行われた出発の会では、代表の児童から、「2日間、いろいろな体験をしてきたい。」と抱負が語られました。

お見送りの保護者のみなさんや先生たちに元気に「いってきます。」とあいさつをして出発しました。天気もよく、よい修学旅行になるように思えましたね。



### 北陸修学旅行 1日目



上田駅にて、7時54分発金沢行き新幹線に乗車しました。



兼六園です。暑いくらいでした。



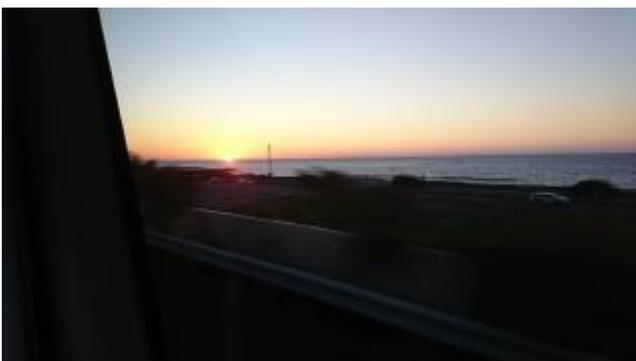
白山連峰が一望できました。日本海も穏やかでした。



ホテルで昼食です。



福井県立恐竜博物館では、恐竜の世界を味わいました。



車窓から海に沈む夕日を見ることができました。



夕食はハントライスをいただきました。

### 北陸修学旅行 2日目



元気に起床し、修学旅行2日目が始まりました。金沢の伝統工芸体験です。



抹茶の自服体験です。「和菓子と合う～」とのことでした。



上越高田で昼食です。海のものいただきました。



最後の見学先、「上越市立水族館うみがたり」でたっぷりと見学しました。二日間、北陸を堪能した楽しい修学旅行になりました。保護者の皆様には、ご支援、ご協力ありがとうございました。

## 総合と教科をつなぐ 秋の生き物のくらし

総合的な学習の時間では各教科、道徳及び特別活動で身につけた知識や技能を相互に関連づけ、学習や生活に生かし、それらが総合的に働くようにすることが求められています。

4年理科では秋の生き物のくらしを調べました。校庭で秋の生き物の様子を画像や動画に収め、それをもとに秋の生き物のくらしについて考えました。

その中で出てきた気づきが、動物や昆虫は「冬への備え」をしているということです。カメムシを見かけることが多くなりました。校舎の中でもよく見ます。温かい場所を求めて移動してきたものと思われます。クマも秋には栄養を蓄え、冬の冬眠に備えるという話を聞いたことがあります。



秋の生き物の様子でサナを撮影した子がいました。「サナの毛がモフモフしてきた。」とのことです。確かにサナの毛は冬毛に生え替わってきていて、なでた感じも見た感じも夏の頃とは異なり、毛の厚みを感じます。「わたしもモフモフしているのを着だしたよ。」とフリースを示してくれた子がいました。サナは自力でモフモフになっています。

冬に備えて毛を生え替わらせる，サナのもつ力について理科の学習で考えられました。サナへの見方が一つ深まります。理科と総合的な学習の時間がつながった瞬間でした。

## 話し合って計画・実行 下級生への読み聞かせ

3年生は話し合って物事を決める学習を進めました。国語の学習です。その一環で，1年生への絵本の読み聞かせをしました。誰に読み聞かせをするのか，どんな本を読むのか，役割分担はどうするかなど，話し合って決めて実行しました。



「失礼します。」と1年生の教室へ入って，「これから始めます。」と元気よく読み聞かせが始まりました。絵本はテレビに拡大提示され，1年生は大きな絵を楽しみながら3年生の読み聞かせを聞きました。登場人物の役割を分担して読んで，臨場感を出して読むセリフは1年生の笑いを誘っていました。

1年生からは「おもしろかった。」との感想が聞かれ，「また読み聞かせに来てもいいですか。」の3年生の問いかけに，「いつでもどうぞ。」と応えていました。

話し合いであと3回1年生に読み聞かせをすることが決まっています。全員が公平にどの役割もできるように，今回も入れて4回の読み聞かせを計画しています。

大切にすることは何かを考えて話し合い，活動を決めだしている3年生です。

## なかよし旬間スタート 全校なかよし授業

11月2日からなかよし旬間がスタートしました。13日までの旬間でした。旬間中は友達や周囲の人とのかかわりについて振り返り，人権を大切にする学習を進めました。なかよし旬間のめあて決め，校長講話，収穫祭・授業参観，なかよし班活動，ありがとうカード，めあての振り返りなどの活動が計画されています。

全校授業としてなかよし旬間のめあてを考えました。まず今までの学校の「なかよし」について振り返ってみました。運動会で協力して種目に取り組めたこと，けがをしたときに助けてくれた友達が出たこと，休み時間に大勢で遊んでいることなど，いくつかの振り返りが発表されました。よさをいかし，新たな視点でも旬間の活動に取り組んでいくことを確かめました。

次に一人ひとりなかよし旬間のめあてを決めて、なかよし班ごとに模造紙に貼りました。「ひとりぼっちの人にいっしょに遊ぼうと声をかけられるといい。どんな小さな事でもやってもらったら、ありがとうと言いたい」とめあてを決めた子がいました。またある子は、「全校の友達の名前を覚えたい。先生たちの名前を覚えたい」とめあてを決めていました。2学期からの転入生です。

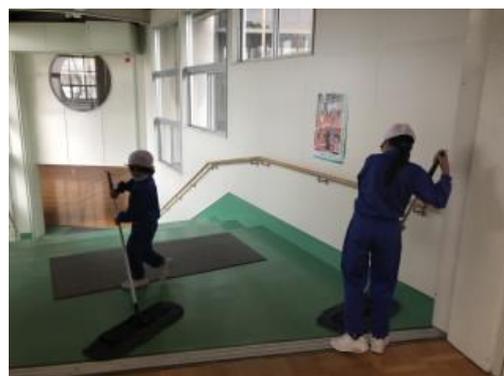


一人ひとり自分なりのめあてが決められました。友達とのなかよしを深める、身近な人権について考えを深める、そんな旬間にしていこうと考えていた子どもたちでした。

## 異年齢で働きます なかよし清掃

西内小学校では異年齢の分担で学校の清掃に取り組み、その交流を深める「なかよし清掃」を行っています。

この日の玄関掃除では、すのこ板をきびきび上げ下ろしし、膝をついてゴミを集めている児童の姿がありました。その傍らでは、角のゴミをほうきできれいにしている分担場所担当の先生がいました。先生の「がんばってるね。」の声かけに笑顔が見られました。玄関の廊下では、低学年児童と高学年児童が分担しながらモップがけをしていました。



異年齢のかかわりに職員も加わり、清掃に一生懸命取り組む雰囲気がありました。活動に一生懸命取り組む中で良好な関係が自然と育まれる、そんな光景に見えました。なかよし旬間中のなかよし清掃の一コマです。

## 子どもと大人いっしょに祝う 収穫祭

11月6日に収穫祭を開きました。保護者の皆様に多数ご参加いただき、児童と保護者の皆様いっしょに収穫を祝うことができました。餅をついて丸め、収穫祭として親子レクリエーションとまとめの会を開きました。

学校玄関前の餅つきから始めました。臼と杵で手つきの餅つきです。全校児童と保護者の皆様、職員で交代しながらつきました。「もっと杵を振り上げて」といったアドバイスや「力が入っていていいね」といった賞賛の声などが飛び交い、皆で賑やかに餅をつきました。低学年の児童が一生懸命杵を振り上げている様子が、学年が上がるにつれて力強さが加わっていき、大人の餅つきには迫力に驚きの声が聞かれました。



つき上がったお餅は家庭科室で保護者の皆様を中心に丸めていただき、あんこやきなこのお餅にしていただきました。今年度は新型コロナ対策で、衛生面から保護者の皆様にお餅を丸めるのをお願いしましたが、さすが手際よくやっけていただき、おいしいお餅になりました。

親子レクリエーションでは、校庭のサッカーと体育館のドッジボールに分かれてスポーツを楽しみ、児童と保護者の皆様のよい交流の機会となりました。この親子レクリエーションは昨年度の台風19号襲来の影響で多くの地区行事等が中止となる中で、保護者の皆様が子どもたちのためにと開いてくれた、「親子スポーツ・レクリエーション大会」の流れを汲むものです。そういった意味においても、たいへん意義深いレクリエーションでした。まとめの会では、参加者皆で今年度の米づくりを振り返ることができました。



児童からは、「全校とお家の人と餅つきができて楽しかった。」「お家の人も入って大勢でドッジボールをやって楽しかった。」と喜びの声が多数聞かれました。保護者の皆様からも、「全校児童と多数の保護者参加のもと餅つきやレクリエーションができて、賑やかで楽しかった。」といった声が聞かれました。新型コロナ対策や臨時休業による授業時数減少で時間がかけられない中で、保護者ボランティアの皆様のお力添えで米づくりが例年のようにできたことに加え、全校児童と保護者の皆様の交流という新たな意味ももたせていただいたように感じられ、たいへん有り難いです。今後この交流の輪は地域へと広がっていきけるかもしれません。



新型コロナ対応のため会食はせず、お餅はお家へ持ち帰りました。おいしいお餅を各ご家庭で味わっていただけたのではないかと思います。保護者の皆様と学校の連携・協働で開催した、意義深い収穫祭となりました。ありがとうございました。

## なかよし旬間の授業参観・講演会

1 1月6日の授業参観には、ご多用の中多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。授業はなかよし旬間に寄せて、人権、人とのかかわりに関する授業を公開させていただきました。

1・2年生は道徳「ふわふわことばとチクチクことば」の授業でした。言われて心がうきうきと元気がでてくる「ふわふわことば」と、反対に悲しくなったり、嫌な気持ちになったりする「チクチクことば」について考え合いました。

3・4年生は道徳「わたしはこんなともだちがすき」でした。スポーツが得意、楽しい、わからないことを教えてくれる、悪いことをしたときに注意してくれる・・・友だちにはいろいろな人がいます。自分が好きな友だちはどんな人か、カードを使ってお家の方といっしょに考えました。

5・6年生は学級活動「修学旅行報告会」として先日の修学旅行について報告をしました。「行けることに感謝！最後までしっかり学び、皆楽しい修学旅行」というスローガンのもと行ってきた修学旅行でした。いろいろな方への感謝をこめて楽しかった2日間について発表しました。

PTA・公民館・学校共催の講演会では、「ネット・ゲームと上手につき合おう」の演題のもと、講師の宮原明人先生よりネットやゲームの利用指導について、人権教育とからめてご講演いただきました。児童、保護者の皆様、地域の皆様で聞いた講演となりましたので、お聞きした内容を、学校、家庭、地域でいかしていけたらと願います。



多くの皆様のご参加により、人権や人とのかかわりについて改めて考えるよい一日となりました。学校としても今後引き続き人権教育への取組を進めていきたいと考えています。

## 第3回学校運営委員会 協議内容ご報告

1月6日、第3回の学校運営委員会が開催されました。学校運営委員会は、学校と地域の連携・協働を推進していく中心となる組織です。

今回の学校運営委員会では、学校評価の結果、学校へ行こう週間や運動会の反省、今後の活動の方向等が協議されました。

その中で、コロナ禍の中、保護者の皆様に学校の教育活動に高評価をいただいたことや運動会の内容が工夫されていたこと、学校へ行こう週間の「お話の部屋」が毎週月曜日の読み聞かせにつながっていることなどが話題となりました。また、来年度へ向けて、学校へ行こう週間においてより保護者や地域の皆様に学校へ足を運んでもらうために、その日の目玉授業・活動を紹介したらどうか、運動会は公民館と共同開催も考えられるのではないかとといった貴重なご意見をいただきました。運動会で鹿教湯八景を踊ることや和太鼓を打つ意味づけを新たにし、より時代に沿った取り組みの仕方を考えていったらどうかといった建設的なご意見もありました。

学校ではホームページにより随時西内小学校の様子を発信しています。ぜひご覧いただき学校を身近に感じ、かかわっていただけそうな活動等ありましたらご連絡いただければうれしく思います。よろしくをお願いします。

## 松本山雅ホームゲームイベント 金管バンド出演



11月1日に開催された、明治安田生命J2リーグ第30節「松本山雅FC vs レノファ山口FC」のホームゲームイベントに金管バンドが招待され、演奏を披露しました。

鮮やかな天然芝の緑色のピッチの上で、金管バンドの演奏が映えました。迫力ある金管楽器の音色がサッカースタジアム、サンプロアルウィンいっぱいに響きました。かっこよかったです。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により発表の場が制限されてしまいましたが、これまでの練習の成果を発揮することができました。

学校ホームページにおいて演奏の様子をご覧いただけますので、ぜひアクセスしてみてください。

## 金管バンド出演 3校交流演奏会

11月8日の3校交流演奏会に金管バンドが出演しました。会場の小諸市文化センター大ホールに、小諸市立野岸小学校、小諸市立東小学校、西内小学校の3校が集い開催された演奏会でした。

新型コロナウイルス感染症は子どもたちの金管活動に大きな影を落としました。学校が休業となり、毎日の練習ができなくなりました。発表の機会も減り、活動の目的が見えなくなってしまった今年、何とか「目標となる発表会を開催しよう」と3校の顧問が企画した演奏会です。

金管バンドは演奏会を目標に練習を積んできました。全力で表現し、他校の友達の演奏も楽しんだ演奏会になりました。コロナに負けずがんばってきた子どもたち大きな拍手を送りたいです。

学校ホームページにおいて演奏の様子をご覧いただけますので、ぜひアクセスしてみてください。



## 複式学級 算数の授業

西内小学校は2・3年生、3・4年生が複式学級で、算数は同じ教室でそれぞれの学年が違う単元を学習する複式授業を行っています。

11月10日の5時間目は、2・3年生の算数は、2年生「三角形と四角形」3年生「1けたをかけるかけ算のひっ算」、4・5年生は、4年生「もとの数はいくつ」5年生「割合」の学習をそれぞれ行いました。異学年が一つの教室で一人ひとりじっくり考えたり、友達同士考え合ったりする姿がありました。

本校は少人数で、一人ひとりに指導が行き届くよさがあります。また、複式授業は、子どもたちは自分たちで運営する時間が多くあるので、自立性を高め、自己教育力が育まれるといわれています。少人数、複式授業、それぞれのよさをいかながら学習活動を進めています。



## なかよし旬間 人権同和教育の授業

11月11日の6時間目の5・6年生道徳では、人権同和教育の授業を実施しました。5・6年生合同で、家庭科室での授業でした。

資料「あらあ 学校へ行きてえ」をもとに、同和問題について考えました。資料の登場人物を演じながら考える、体験活動を取り入れた授業でした。子どもたちは理不尽な差別に憤りを感じ、自分の考えを見返しながら深めていました。

子どもたち同士、また先生といっしょに、「差別は許されるものではない、なくしていかなくていけない」との思いを共感し合う授業になりました。なかよし旬間の意義ある学習となりました。



## わくわく芸術体験 ジャズコンサート&ワークショップ

「わくわく芸術体験」とは、上田市と信州国際音楽村の協力により、プロの芸術家を小中学校に派遣し、未来を担う子どもたちの豊かな感性を育むことを目的とする事業です。今回、プロの演奏家4名をお招きして、西内小学校でジャズコンサートを開いていただきました。11月12日の5時間目、体育館でのコンサートでした。

「ビター・スイート」の演奏から始まったコンサート。ドラム、ピアノ、トランペット、コントラバスの音の重なりに聴き入っていた子どもたちでした。子どもたちに馴染みの深い曲としては、「星に願いを」の演奏がありました。楽しいと思ったら手拍子をしてね、と演奏者のみなさんからの言葉があり、音楽に合わせて手拍子をしたり体を揺らしたりしていた子どもたちでした。リクエストにも応えていただき、「シング・シング・シング」を演奏していただきました。この曲は本校金管バンドが昨年度のコンクールで演奏した思い出の曲です。

お礼に金管バンドの演奏を聴いてもらいました。感謝の「4曲メドレー」に演奏者さんからは、「素晴らしい」「刺激になる」とお誉めの言葉をいただきました。

全校でジャズを楽しんだコンサートになりました。



## うれしい本のプレゼント ブックバス

「ブックバス」が西内小学校に来て、子どもたちに本をプレゼントしてくれました。昨年度に引き続き来てもらいました。

ブックバスは児童への古本寄贈活動で、地元企業さんの地域貢献事業としての取組です。一人2冊本をプレゼントしてもらいました。子どもたちはバスに積まれた本の中から好みの本を選びました。本は学級文庫になります。また、ブックバスの車体はチョークで絵や文字をかけるようになっていて、思い思いのイラストを描いて楽しんでいる子どもいました。



子どもたちは地元企業さんの地域貢献事業を体験しました。その価値を感じ、自分たちの活動や将来にいかして行ってほしいです。

## 全校分を焼きました！ やきいも大会

1～3年生が収穫したサツマイモは大量です、豊作です。苗を植えて、みんなで水やりをしたり、草取りをしたりして育ててきました。思いのつまったたくさんのおいもです。

準備として、前もっていもを洗い、包丁で切って大きさを揃えました。「全校の子どもが34人で、・・・先生たちが・・・一人何こ食べたいかなあ・・・」と話しながら、140こ以上も用意できました。後日新聞紙で包む人、水でぬらす人、アルミホイルをまく人と分担して作業をしました。



11月13日がやきいも大会でした。自分たちの分に加え、全校の児童、先生たちの分も焼いて一人3こ分も用意しました。いもを焼いている間は、3年生の計画で楽しくレクリエーションをして、焼き上がったらみんなで黄色にこんがり焼けたおいもをほおばりました。

3年生のある子は、「レクリエーションのゲームが楽しかった」と言っていました。自分たちの企画で1・2年生に喜んでもらってうれしい様子でした。2年生は、「おいもがうまい！」と言っていました。自分たちで育てたおいしいおいも、よかったですね。1年生は、「ゲームが楽しかったし、おいももおいしい」と活動の充実を振り返っていました。

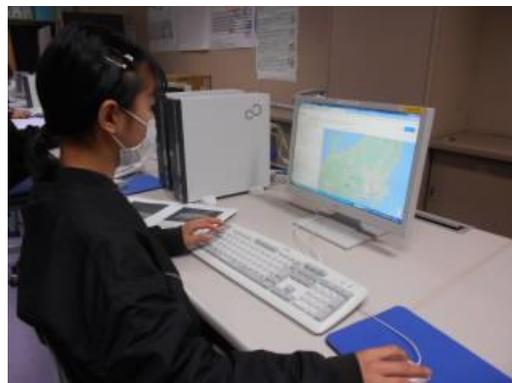
おいしくて楽しい、充実のやきいも大会になりました。

# 自分の課題にチャレンジ 総合的な学習の時間

## 西内にかかわる歴史を調べる

西内小学校の総合的な学習の時間は、個人の課題追究に焦点をあて、大切にしています。

地元の西内にかかわる歴史について調べている子たちがいいます。枝垂れ栗について調べている子は、西内・小野・下呂の他に、岩手県遠野市にも枝垂れ栗があることをインターネットで調べて知りました。4箇所の共通点を考えているうちに「温泉が関係あるのではないか」という仮説が浮かび、岩手県遠野市の近くにも温泉がないか調べました。



遠野市の近くには温泉はありませんでしたが、「そういえば、岩手の枝垂れ栗はだれかが持ってきて植えた」と気づき、自生との違いを考えていました。

他の子たちからも、「やっているといくつ疑問が出てくる。おもしろいんだよね」「まとめ始めたら、20ページ以上になっちゃった」といった声が聞かれました。

どの子も、パソコンに向かってわかったことをまとめたり、疑問を調べたりしています。キーボードの打ち方も早くなり、検索の仕方も上手になりました。

## 西内の自然と秘密基地

### 西内の自然

「西内の自然」グループは、この日、学校のプールに住む生き物に注目してみました。この季節に注目されることはめったにない場所ですね。

採ってきた水の中には、様々な生き物がいて、実体顕微鏡で観察しました。発見できた生き物は、図鑑で調べたり職員に聞いたりして、「シオカラトンボのヤゴ」「マツモムシ」「カゲロウの仲間」までは分かってきました。氷が張るまでは観察を続けられそうですね。独特の世界に興味を湧きま



### 秘密基地

「秘密基地」グループでは、屋根と壁のある基地を作りたいと試行錯誤を重ねてきました。そして、堅穴式住居のような、テント「ティピー」のような形に進化してきています。

この日は、土台を補強するチームと天幕のビニールシートを洗うチームに分かれて進めていました。雪が積もるまでに完成できるといいですね。



## 完成間近！サナ悠々自適の間 完成！ワラランド

チームヤギは、「ワラランド」と「悠々自適の間」製作を分担して取り組みました。

ワラランドとはヤギの師匠、青木村の堀内さんからアドバイスしてもらってつくるヤギの冬支度コーナーのことです。わらを主に使ったことからワラランドと名づけられました。堀内さんからはヤギ小屋の床はコンクリートなので、風呂マットのようなものを敷いてヤギの寝床としたらいいね、というアドバイスをもらいました。そうしたところ、水泳の授業で使った古いビート板が見つかり、マットの代わりにビート板を敷いてサナの寝床をつくることにしました。ビート板の上にはわらを大量に敷いて暖かくサナに寝てもらおうようにしました。



悠々自適の間は杭と寄付していただいた板で柵をつくり、完成したら長方形の放牧場ができるのですが、長方形の残り一辺のみを残すところまで作業が進みました。5・6年生の修学旅行中に4年生ががんばって製作を進めてくれて、それに応えようと5・6年生ががんばって取り組んでいました。釘を打ち込む金槌の軽快な音が校庭に響いていました。サナは子どもたちが何をしているのか関心があるようで、近づいてきて「サナ、危ないから待っててね。」と声をかけられていました。

ワラランド、悠々自適の間ともに、サナに入ってもらって、サナの反応を見てみました。サナを小屋の中に入れてワラランドに連れていきましたが、まだ昼間で寒くないので横になったりする様子はありませんでしたが、心なしかくつろいでいるように見え、満足そうな子どもたちでした。

悠々自適の間には未完成の一边を子どもたちが柵代わりとなって塞ぎ、リードを外してサナを入れてみました。リードなしで小屋の外にいるサナを見るのは初めてで、子どもたちは「サナがのびのびしている！」と感動した様子でしたが、しばらくするうちに柵の中段を跳び越えて外に出てしまいました。子どもたちは残念というよりは、改良点が見つかりやる気を新たにしました。

ワラランドもサナ悠々自適の間も、サナのことを思いながら、サナの様子を観察しながら製作に取り組みました。次回は悠々自適の間づくりに注力し、サナが跳び出ない柵を追求しながら、扉もつけて完成させたいです。

## プログラミング学習 「ビスケット」と「ホエール君」

今年度より小学校においてプログラミング教育が必修となり、上田市行政情報処理センターと連携しながら授業を進めています。11月18日は行政情報処理センターより2名の講師を招き、学級ごとにプログラミングの授業を実施しました。

低学年は「ビスケッ」というプログラミング学習支援ソフトを使用しました。プログラミングした結果がPC画面上に反映されるビジュアル・プログラミングです。△マークや海の生き物を思い思いに動かして大喜びの子どもたちでした。

高学年は「ホエール君」というプログラミング学習用ロボットを使用しました。プログラミングした結果が物の動きに反映されるフィジカル・プログラミングです。クジラの形をしたロボットをどう思い描いたように動かすか、試行錯誤していました。

低学年も高学年も、楽しみながらプログラミングの授業ができました。今後も学習を進めていきます。



## 祝！青少年善行表彰 金管バンド

本校金管バンドが、上田市青少年善行表彰において市より表彰を受けることになりました。

令和元年10月の台風19号の際、地域で被災された方が大勢いることを知り、金管バンドは自分たちにできることはないか考え、復興応援コンサートで地域を元気づけようと開催を企画しました。自ら主催し、企画・運営するコンサートは新たな挑戦で、ポスター・チラシ作り、有線放送の呼びかけを自分たちで行いました。使命感を伴った地域を励ます行動に、当日は会場の体育館に150名を超える地域の皆さんに集まっていただきました。

この地域貢献に、青少年善行者として表彰していただきます。本校の子どもたちの活動に心を動かしてくれた方々がいて、評価してもらえたことは喜ばしいことです。金管バンドの皆さん、おめでとう！



## 西内小で開催 丸子中学校美術部作品展

コロナ禍で美術作品も展示の機会が少なくなっていて、鑑賞に行く機会も限られている状況です。そんな中、西内小学校では丸子中学校美術部のみなさんが制作した作品の展覧会を開いています。

絵画、切り絵の作品を展示しています。額装された作品に、幅3メートルを超える大型作品と様々な作品があります。アニメのキャラクターをモチーフにした作品もあり、本校の子どもたちは、「上手だな」「大きくて迫力がある」などつぶやきながら鑑賞しています。



作品展は食堂前廊下において、11月28日までに開催しています。来校の際はぜひご覧ください。

## 芸術の秋です 全校陶芸



1月の登り窯での窯焚きを念頭に、全校陶芸を実施しました。陶芸家の宮上誠治先生を講師にお招きし、1・2年、3・4年、5・6年と連学年ごとに陶芸作品を制作しました。

家、城、壺など学年ごとにテーマを決め、宮上先生に作り方の見本を見せてもらい制作していきました。子どもたちは想像を膨らませて作りたい物を決めて制作を進めていて、作品にはその子の思いや個性が映し出されているように見えます。宮上先生にアドバイスをもらいながら制作を進めました。

西内小学校では登り窯にかかわる陶芸に加え、金管バンドの音楽というように芸術教育に力を入れています。芸術教育により感情を育み、人間形成をめざす。西内小の教育の一つです。

# 12月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4 6年卒業制作 保育園 陶芸 体みがき	5	6
7	8 歯科指導	9	10	11	12	13
14 支会図習展(～17日) ICT支援員来校②	15	16 ICT支援員来校③	17 5時間授業	18 5時間授業	19	20
21 個別懇談会①(短縮5時間授業)	22 個別懇談会②(短縮5時間授業)	23	24	25 2学期終業式	26 年末年始休業(～1/6)	27
28	29	30	31			

【登校日数19日(累計141日)】

- ・4日(金)は講師の宮上先生をお招きして、陶芸の卒業制作があります。6年生の卒業に向けた活動が始まります。
- ・21日(月)、22日(火)は個別懇談会です。保護者の皆様と児童の成長を確かめ合い、支援の方向を探っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定が変更になることがあります。その際は学年だよりや安心メールでお知らせします。

学校では不祥事根絶に向け、服務規律の遵守に努めていくように、非違行為防止研修を実施しています。

## 「われら西内小学校」クイズ

何を食べているでしょう？



このおたよりをよく読んで答えてね。

5・6年生が  
修学旅行で食べたよ。



- ① ハントライス      ② 焼きそば      ③ 牛丼

ハントライスは、日本の洋食の一つです。ハント風ライスとも呼ばれ、石川県金沢市の郷土料理として知られています。近年、テレビや雑誌、インターネットなどで紹介され、金沢市民だけでなく全国的に知名度が上がっています。ケチャップで味付けしたバターライスの上に、半熟の薄焼き卵と白身のフライを乗せ、タルタルソースをかける。元々は、カレイ目の魚である「オレヨウ」を使った白身魚フライが乗っていたが、1976年に初めてエビフライを乗せて販売されたとのこと。中身はケチャップライスやチキンライス、ベーコンライスの3種類、ソースにはケチャップやマヨネーズ、ドミグラスソースの3種類がそれぞれ存在しており、具材に豚カツを使用する店などもあるそうです。(答え①)